

## 神戸市立工業高等専門学校専攻科履修規則

2023年4月1日

規則第149号

(目的)

第1条 この規則は、神戸市立工業高等専門学校学則（2023年4月学則第1号。以下「学則」という。）第46条第3項の規定に基づき、神戸市立工業高等専門学校（以下「本校」という。）専攻科（以下「専攻科」という。）における履修に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(授業科目及び単位数)

第2条 各学年に配当する授業科目及びその単位数は、別表のとおりとする。

(在籍学年の定義)

第3条 専攻科において、第1学年在籍とは、入学年度の者及び前年度までに専門展開科目のうち第1学年配当必修科目の一部を修得していない者をいい、第2学年在籍とは、前年度までに専門展開科目のうち第1学年配当必修科目を全て修得した者をいう。

(単位の計算方法)

第4条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45単位時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義科目については、15単位時間の授業時間をもって1単位とする。
- (2) 講義・演習科目については、15単位時間の授業時間をもって1単位とする。
- (3) 演習科目については、30単位時間の授業時間をもって1単位とする。
- (4) 実験科目については、45単位時間の授業時間をもって1単位とする。
- (5) 専攻科特別実習については、別に定めるところにより2単位とする。

2 前項の単位数の計算において、90分の授業は、2単位時間として、135分の授業は、3単位時間として取り扱うものとする。

(履修方法)

第5条 専攻科に開設されている授業科目のうち選択科目の履修にあたっては、所定の期日までに履修申請を行わなければならない。

(履修の制限)

第6条 第1学年在籍者については、専門展開科目のうち、第2学年配当必修科目の履修を認めない。

- 2 同一時間に開講している2以上の科目については、同時に履修することを認めない。
- 3 各授業科目は、その内容に応じて受講を制限すること又は教室の都合等により受講人員を制限することがある。

(試験等)

第7条 専攻科の試験は、学期末に期日を定めて行う試験（以下「定期試験」という。）、追試験、及び科目担当者が必要と判断した際に行う臨時試験（中間試験を含む。）とする。

- 2 追試験は、病気その他やむを得ないと認められる理由によって定期試験を受験できなかった者に対して、専攻科長が認めたときに行うことができる。
- 3 追試験の成績は、原則として80点満点で評価する。ただし、専攻科長が特に認めるときは、100点満点で評価することができる。
- 4 臨時試験は、シラバスに記載された科目についてのみ実施を認めるものとし、試験の評価方法は、当該科目担当者が決定する。
- 5 平素の成績によって評価できる科目については、試験を行わないことができる。

(成績の評価)

第8条 学業成績は、授業科目ごとに、試験の成績及び平素の成績を総合して100点法で評価する。ただし、専攻科特別実習等については、合格又は不合格で評定する。

- 2 学業成績を評語で表すときの区分は、次のとおりとする。

学業成績	80点以上	79点～70点	69点～60点	59点以下
評 語	優	良	可	不 可

- 3 G P は、学業成績の点数から55を減じて得た数値を10で除して得た数値とする。ただし、学業成績が60点未満のときは、G P を0とするものとする。
- 4 G P A は、G P に授業科目の単位数を乗じて得た数値の総和をG P Aの対象とする授業科目の単位の総数で除して得た数値とする。ただし、G P Aの計算において、小数第3位を四捨五入するものとする。
- 5 G P Aの対象とする授業科目は、別に定める。
- 6 G P Aは、学生に通知しないものとする。

(単位の認定)

第9条 前条第1項の成績が60点以上に評価された授業科目について、単位の修得を認定する。

- 2 学則第47条において準用される学則第15条第1項の規定により学生が大学において修得した単位は、30単位を超えない範囲で専攻科における授業科目の履修とみなし、その単位を認定することができる。ただし、専攻に係る科目以外の科目は、8単位を超えない範囲で認定することができる。
- 3 学生が大学で開設されている授業科目の履修を希望するときは、受講申告書を事前に校長に提出しなければならない。
- 4 教育課程が変更されたときは、シラバス等を精査することで、新旧科目を読み替

えることができるものとする。

(他の専攻の授業科目の修得)

第10条 他の専攻の専門展開科目を履修し、単位を修得した場合は、6単位を限度として当該専攻の修了認定要件の単位に含めることができるものとする。

(再履修)

第11条 単位を修得できなかった授業科目のうち修得する必要がある科目は、原則として次年度に再履修しなければならない。この場合において、再履修の履修方法については、第5条の定めるところによるものとする。

(修了の認定)

第12条 専攻科の修了認定は、次に定める各号のすべての項目に該当する者について、修了認定会議の審議を経て、校長が行う。

- (1) 必修科目をすべて修得していること。
- (2) 総修得単位数が62単位以上であること。
- (3) 一般教養科目の修得単位数が8単位以上であること。
- (4) 専門共通選択必修科目の修得単位数が4単位以上であること。
- (5) 専門科目の修得単位数が46単位以上であること。

2 前項の修了認定会議(以下同じ。)は、校長、専攻科長、教務主事(研究)、学生主事、副主事(研究)、事務室長、学生課長、各専門学科及び一般科の学科長、専攻主任及び専攻科の授業を担当する教員をもって構成する。

3 修了認定会議は、校長が必要に応じて招集する。

4 修了認定会議に係る記録は、校長が指名委嘱した記録担当者が行う。

(改廃)

第13条 この規則の改廃については、神戸市立工業高等専門学校専攻科運営委員会で協議する。

附 則

1 この規則は、2023年4月1日から施行する。

2 第8条第3項から第4項までの規定は、2024年度における第2学年在籍者から適用する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、2024年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 2023年度以前に在籍している者については、従前の例による。

別表（第2条関係）

機械システム工学専攻 [2023年度以降入学生に係る教育課程表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考	
			第1学年	第2学年		
一般教養科目	必修	現代思想文化論	2	2		
		コミュニケーション英語	1	1		
		必修科目単位数計	3	3		
	選択	地域学	2		2	
		時事英語	2	2		
		英語講読	2	2		
		応用倫理学	2		2	
		手話言語学	2		2	
	一般教養科目開設単位数計		13	7	6	
	一般教養科目修得単位数計		8単位以上			
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2		2
			シミュレーション工学	2	2	
			必修科目単位数計	4	2	2
		選択	数理工学Ⅰ ※	2	2	
			数理工学Ⅱ ※	2		2
			数理統計 ※	2	2	
	数値流体力学		2		2	
	量子物理 ※		2	2		
	技術英語		2	2		
	選択科目開設単位数計		12	8	4	
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1		1
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2	
			専攻科ゼミナールⅡ	2		2
			専攻科特別研究Ⅰ	7	7	
			専攻科特別研究Ⅱ	8		8
			必修科目単位数計	20	9	11
		選択	専攻科特別実習	2	2	
			メカニカルエンジニアリング演習	2	2	
			レーザー工学	2	2	
			X線工学	2	2	
			流れ学	2		2
			熱機関論	2	2	
			知的材料解析	2	2	
			成形加工学	2		2
			応用ロボット工学	2	2	
			航空工学概論	2	2	
			トライボロジー	2	2	
			熱・物質移動論	2		2
			熱流体計測	2	2	
			切削工学	2	2	
応用材料力学			2	2		
フィールドロボティクス論			2	2		
Research activities and debates in English			2		2	
ナノ材料工学			2	2		
先端複合材料学	2	2				
選択科目開設単位数計		38	28	8		
専門科目開設単位数合計		74	49	25		
専門科目修得単位数合計		46単位以上				
一般教養・専門科目開設単位数合計		87	56	31		
一般教養・専門科目修得単位数合計		62単位以上				

※を付した授業科目は、選択必修科目。選択必修科目の中から2科目以上を修得すること。

別表（第2条関係）

電気電子工学専攻 [2024年度以降入学生に係る教育課程表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考	
			第1学年	第2学年		
一般教養科目	必修	現代思想文化論	2	2		
		コミュニケーション英語	1	1		
		必修科目単位数計	3	3		
	選択	地域学	2		2	
		時事英語	2	2		
		英語講読	2	2		
		応用倫理学	2		2	
		手話言語学	2		2	
	一般教養科目開設単位数計		13	7	6	
	一般教養科目修得単位数計		8単位以上			
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2		2
			シミュレーション工学	2	2	
			必修科目単位数計	4	2	2
	選択	数理工学Ⅰ ※	2	2		
		数理工学Ⅱ ※	2		2	
		数理統計 ※	2	2		
		数値流体力学	2		2	
		量子物理 ※	2	2		
		技術英語	2	2		
	選択科目開設単位数計		12	8	4	
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1		1
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2	
			専攻科ゼミナールⅡ	2		2
			専攻科特別研究Ⅰ	7	7	
			専攻科特別研究Ⅱ	8		8
		必修科目単位数計		20	9	11
		選択	専攻科特別実習	2	2	
			電磁解析	2	2	
			プラズマ工学	2		2
			エネルギー工学	2		2
			高電圧工学	2	2	
			光波電子工学	2	2	
			光物性工学	2	2	
			先端半導体デバイス	2	2	
			光応用計測	2	2	
			システム制御工学	2	2	
			応用電気回路学	2	2	
	デジタル信号処理		2	2		
	アルゴリズムとデータ構造	2	2			
	コンピュータグラフィクス	2	2			
応用パワーエレクトロニクス	2	2				
選択科目開設単位数計		30	26	4		
専門科目開設単位数合計		66	45	21		
専門科目修得単位数合計		46単位以上				
一般教養・専門科目開設単位数合計		79	52	27		
一般教養・専門科目修得単位数合計		62単位以上				

※を付した授業科目は、選択必修科目。選択必修科目の中から2科目以上を修得すること。

別表（第2条関係）

応用化学専攻〔2024年度以降入学生に係る教育課程表〕

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考	
			第1学年	第2学年		
一般教養科目	必修	現代思想文化論	2	2		
		コミュニケーション英語	1	1		
		必修科目単位計	3	3		
	選択	地域学	2		2	
		時事英語	2	2		
		英語講読	2	2		
		応用倫理学	2		2	
		手話言語学	2		2	
	一般教養科目開設単位計		13	7	6	
	一般教養科目修得単位計		8単位以上			
専門科目	必修	工学倫理	2		2	
		シミュレーション工学	2	2		
		必修科目単位計	4	2	2	
	選択	数理工学Ⅰ ※	2	2		
		数理工学Ⅱ ※	2		2	
		数理統計 ※	2	2		
		数値流体力学	2		2	
		量子物理 ※	2	2		
		技術英語	2	2		
	選択科目開設単位計		12	8	4	
	必修	エンジニアリングデザイン演習	1		1	
		専攻科ゼミナールⅠ	2	2		
		専攻科ゼミナールⅡ	2		2	
		専攻科特別研究Ⅰ	7	7		
		専攻科特別研究Ⅱ	8		8	
		必修科目単位計	20	9	11	
		選択	専攻科特別実習	2	2	
			高分子材料化学Ⅰ	2	2	
			高分子材料化学Ⅱ	2	2	
			化学工学熱力学	2	2	
有機金属化学			2	2		
物理有機化学			2	2		
分離工学			2		2	
無機合成化学			2	2		
周期表の化学			2		2	
電気化学			2	2		
化学反応論			2	2		
分子生物学Ⅰ	2		2			
分子生物学Ⅱ	2			2		
移動現象論	2	2				
有機反応機構論	2	2				
選択科目開設単位計		30	24	6		
専門科目開設単位合計		66	43	23		
専門科目修得単位合計		46単位以上				
一般教養・専門科目開設単位合計		79	50	29		
一般教養・専門科目修得単位合計		62単位以上				

※を付した授業科目は、選択必修科目。選択必修科目の中から2科目以上を修得すること。

別表（第2条関係）

都市工学専攻〔2024年度以降入学生に係る教育課程表〕

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考	
			第1学年	第2学年		
一般教養科目	必修	現代思想文化論	2	2		
		コミュニケーション英語	1	1		
		必修科目単位計	3	3		
	選択	地域学	2		2	
		時事英語	2	2		
		英語講読	2	2		
		応用倫理学	2		2	
		手話言語学	2		2	
	一般教養科目開設単位計		13	7	6	
	一般教養科目修得単位計		8単位以上			
専門科目	専門共通科目	必修	工学倫理	2		2
			シミュレーション工学	2	2	
			必修科目単位計	4	2	2
		選択	数理工学Ⅰ ※	2	2	
			数理工学Ⅱ ※	2		2
			数理統計 ※	2	2	
			数値流体力学	2		2
			量子物理 ※	2	2	
			技術英語	2	2	
	選択科目開設単位計		12	8	4	
	専門展開科目	必修	エンジニアリングデザイン演習	1		1
			専攻科ゼミナールⅠ	2	2	
			専攻科ゼミナールⅡ	2		2
			専攻科特別研究Ⅰ	7	7	
			専攻科特別研究Ⅱ	8		8
			必修科目単位計	20	9	11
		選択	専攻科特別実習	2	2	
			応用構造工学Ⅰ	2	2	
			応用構造工学Ⅱ	2	2	
			応用材料学	2	2	
			環境保全工学	2	2	
			応用水理学	2	2	
			都市防災学	2	2	
			地盤基礎工学	2	2	
			地盤防災工学	2	2	
			交通計画	2	2	
			都市計画	2	2	
			コンクリート診断学	2	2	
			建築計画	2	2	
			応用建築設計製図Ⅰ	2	2	
応用建築設計製図Ⅱ			2	2		
選択科目開設単位計		30	30	0		
専門科目開設単位合計		66	49	17		
専門科目修得単位合計		46単位以上				
一般教養・専門科目開設単位合計		79	56	23		
一般教養・専門科目修得単位合計		62単位以上				

※を付した授業科目は、選択必修科目。選択必修科目の中から2科目以上を修得すること。